

# 〔Daily 日本史〕

## 【問】 2002年 駒澤大学 文(地理/心理), 法(法律フレックスA)

つぎの文を読んで空欄〔1〕～〔10〕に最も適する語を次の語群から選び、その記号をマークせよ。同一番号の空欄は同一語句である。

第一次世界大戦は、直接戦場とならなかった日本の輸出を増大させ、好景気をもたらした。しかし、この大戦景気は、都市を中心としたもので農村には十分には及ばず、また大戦末期の物価上昇、とりわけ米価の上昇は、下層労働者や下層農民の生活を困窮させた。さらに、1918年、寺内正毅内閣の〔1〕出兵を見越した米の買い占めが行われると、米価は更に急騰し、日本各地で米屋などをおそう暴動が起こり、政府は軍隊を出して鎮圧したが、寺内内閣は混乱の責任をとって総辞職した。

内閣の後継には、政治の安定を図るために衆議院第一党の〔2〕の総裁原敬が指名された。原内閣は、外交では、〔3〕講和会議に西園寺公望らを全権として送り、アメリカなど列強との協調を重視しつつ、日本の勢力拡大にも力を尽くした。この結果、中国の山東省の旧ドイツ権益を継承し、赤道以北のドイツ領南洋諸島を〔4〕とすることとなった。また、内政では、鉄道の拡張や〔5〕の公布による高等教育の拡充などの積極政策をとったが、普通選挙運動などには時期尚早として反対した。しかし、内閣の積極政策は、戦後恐慌により行きづまり、汚職事件も続発して、多数党の横暴との非難が高まり、そのような世論のなか、原首相は暗殺された。内閣は蔵相の高橋是清が引き継いだ、党内の支持が得られず短命に終わった。

その後、加藤友三郎内閣、第2次本権兵衛内閣、〔6〕内閣と三代の非政党内閣が続いた。加藤友三郎は、〔7〕会議の首席全権であり、組閣後は、海軍軍縮条約の実施を軌道にのせ、〔1〕撤兵を行い、普通選挙制導入も検討したが在任中に病死した。山本内閣は、関東大震災からの復興に努めたが、虎ノ門事件が起こり引責辞任した。ついで、〔6〕が、貴族院を背景に組閣すると、憲政会・〔2〕・〔8〕の三党が提携して護憲三派を結成し第2次護憲運動と呼ばれる倒閣運動を展開した。〔6〕内閣は、これに対抗して衆議院を解散したが、総選挙では、普通選挙の実施・政界革新を唱える護憲三派が大勝して〔6〕内閣は倒れた。

この結果、第一党の憲政会総裁〔9〕が首相となり、〔2〕総裁高橋是清、〔8〕の犬養毅も入閣し、護憲三派内閣が成立した。〔9〕内閣は、〔10〕年、普通選挙法を成立させたが、同時に治安維持法を成立させ社会運動を取り締まることとした。

### 〔語群〕

- |          |          |           |          |
|----------|----------|-----------|----------|
| ア. 立憲同志会 | イ. 植民地   | ウ. 教育令    | エ. 立憲国民党 |
| オ. 委任統治領 | カ. 大学令   | キ. 租借地    | ク. 立憲政友会 |
| ケ. 革新倶楽部 | コ. 学校令   | サ. 立憲民政党  | シ. 立憲自由党 |
| ス. パリ    | セ. ワシントン | ソ. ヴェルサイユ | タ. シベリア  |
| チ. 満州    | ツ. ジュネーヴ | テ. ロンドン   | ト. ノモンハン |
| ナ. 遼東半島  | ニ. 清浦奎吾  | ヌ. 浜口雄幸   | ネ. 若槻礼次郎 |
| ノ. 田中義一  | ハ. 幣原喜重郎 | ヒ. 加藤高明   | フ. 1925  |
| ヘ. 1928  | ホ. 1930  |           |          |

**【解答】**

1 タ      2 ク      3 ス      4 オ      5 カ

6 ニ      7 セ      8 ケ      9 ヒ      10 フ